

平成25年度 特集展示（会期：平成25年4月23日（火）～7月7日（日））



筑紫野地峡帯の旧石器

— 宗原遺跡とその周辺 —

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 筑紫野地峡帯と旧石器遺跡

現在の太宰府市から小郡市へと抜ける地域は、筑紫野地峡帯（二日市低地帯）と呼ばれています。

この福岡平野と筑紫平野を繋ぐ回廊状の地形の原形は、今から2万年以上前、更新世の最終氷期頃には成立していたことが分かっています。地峡帯に沿った丘陵や台地上では、多くの旧石器時代の遺跡が確認されています。それは、この谷部を移動する動物群を獲物とした、旧石器人の狩猟活動の痕跡とみる考えもあります。

平成25年3月、筑紫野地峡帯の旧石器遺跡の一つ宗原遺跡出土の旧石器資料が福岡県指定有形文化財・「宗原遺跡出土品」となりました。当館では、これを記念して、近年、確認された新たな資料と共に、この地域の旧石器時代の世界を紹介します。



宗原遺跡全景（調査時 北から）
曾根田川東の河岸段丘上に立地。



宗原遺跡角錐状石器出土状況

※本展示では、較正年代を使用していない。

2 宗原遺跡石器群の特徴

遺跡は、宝満川支流の曾根田川東に広がる河岸段丘上に立地しています。平成5年、道路建設に伴う発掘調査が行われ、旧石器時代の石器が出土しました。

出土石器には、角錐状石器（三稜尖頭器）や槍先形尖頭器、スクレイパー、敲石、剥片・碎片等があります。また、これらの石器は、今から2万5千年前の始良Tn火山灰よりも新しい年代であることも分かっています。

あらためてみると、通常の遺跡に比べ、出土点数が64点と少なく、石器群全体としても、定形的な石器は、狩猟具（石槍）とみられる角錐状石器や槍先形尖頭器が多いことが分かります。また、サヌカイト（佐賀県小城市周辺産出）の石器は大きく、黒曜石（佐賀県伊万里市腰岳産）の石器は小さいことから、石材によって大きさや形を作り分けていることは確かです。

このような特徴から、当時の人びとが獲物を追求めて移動しながら狩猟をする中で、時には石器製作を行いながら、短期間に残した遺跡と考えられています。宗原遺跡から出土した石器は、当時の人びとの暮らしぶりを復元する上でも多くの情報があります。



宗原遺跡から出土した石器

遺跡では、角錐状石器と呼ばれる槍先形の石器が数多く出土していることから、周辺に狩猟場が想定されている。

3 地峡帯の旧石器文化—様々な石槍—

地峡帯の遺跡が増加するのは、始良火山噴火後、列島が最終氷期の最寒冷期を迎える今から約2万数千年前のことです。この始良Tn火山灰降下後、それまで主要な石器であったナイフ形石器や台形様石器に加えて、九州地方では狩猟具とみられる大型の石器が幾つか出現します。素材の基部のみを加工した剥片尖頭器や、先端を尖らせて断面三角形に仕上げる角錐状石器などがあります。これらは、木製の柄などに装着して、石槍として使用したと考えられています。地峡帯でも、こうした大型の石槍をもつ遺跡が数多くみられます。

1) 隈・西小田遺跡13地点

地峡帯の南端付近となる宝満川と宝珠川に挟まれた台地上に立地しています。遺跡の13地点では、剥片尖頭器や角錐状石器、ナイフ形石器等、様々な石槍が出土しています。ちょうど地峡帯の谷を挟んだ東側には、宗原遺跡があります。それぞれ、谷間を移動する狩猟場の拠点となった遺跡かもしれません。

2) 原田辻遺跡A地点

地峡帯の南側の台地上に立地しています。この遺跡では、石槍とみられる剥片尖頭器が多量に出土しています。ただし多くは、先端部を欠いています。このことから遺跡周辺での狩猟の際、破損したものを交換したため、残されたものかもしれません。当時の人びとの狩猟生活の一端を垣間見る事のできる資料と言えます。

最寒冷期頃、遺跡数が増加するのは、全国的な傾向でもあり、各地で様々な石器文化がみられます。その背景には、人や集団の頻繁な移動が想定されています。

その中でも、剥片尖頭器は、朝鮮半島から渡ってきた石器とみられ、おそらく人びとが獲物を追って移動していく中で、九州にもたらされたと考えられています。こうした石器をはじめ、地峡帯に遺跡が多いことは、やはり当時の狩猟社会の一端を表しているのでしょう。

(学芸調査室 杉原敏之)

【参考文献】

福岡県教育委員会1994『宗原遺跡』福岡県文化財調査報告書第116集
筑紫野市教育委員会2011『原田地区遺跡群2—地質・旧石器・縄文時代編—』
筑紫野市文化財調査報告書第105集



剥片尖頭器 (原田辻遺跡A地点 筑紫野市教育委員会蔵)



様々な石槍 (隈・西小田遺跡13地点 筑紫野市教育委員会蔵)
(左からナイフ形石器2点・角錐状石器・剥片尖頭器)



台形様石器 (原田榎本ノ一遺跡A地点 筑紫野市教育委員会蔵)



旧石器出土状況 (原田辻遺跡A地点 写真提供：筑紫野市教育委員会)



編集 発行：平成25年4月23日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>